



うしお たかお  
潮 隆 雄 氏

生年月日 昭和 14 年 1 月 3 日生

住 所 滋賀県大津市

昭和 14 年 (1939 年) 1 月 3 日、西牟婁郡田辺町 (現田辺市) に生まれる。

田辺高等学校卒業後、昭和 32 年 (1957 年) に京都市立美術大学工芸科に入学、稲垣稔次郎氏、小合友之助氏に師事する。昭和 36 年 (1961 年) に同大学を卒業後、綴織技法に出逢い、タピスリー作家としての道を歩み始める。また、京都精華短期大学、京都精華大学や広島市立大学などで助教授や教授等を務める。

昭和 36 年 (1961 年) に第 4 回日展に初入選、翌 37 年 (1962 年) には第 1 回日本現代工芸美術展に入選する。以後、独自の技法をこらし、日本においては歴史の浅いこの分野で高い評価を得、現在まで創作活動を続けている。

日展特選をはじめ、日展会員賞、現代工芸会長賞など数々の受賞を重ね、平成 22 年 (2010 年) の日本現代工芸美術展では文部科学大臣賞を受賞するなど、日本では数少ないタピスリーによる造形表現の第一人者である。高度な技術と熟練を要する本綴帯の制作からタピスリー制作や綴帳制作まで取り組み、制作の初期から確かな織の技法を駆使し、抽象的な形態に心象を託す独特の表現を築いてきた。昭和 46 年 (1971 年) に皇后陛下渡欧に際して綴帯の制作を担当する。また、国内はもとより海外でも数々の展覧会へ出展するとともに、大都市圏などで個展も多数開催している。

近年は、タピスリー制作の中に、綴織をベースにしつつ、同一面に駆使することが非常に困難な巻織・輪奈織などを併用して、現代においても機械化の出来ない手仕事ならではの独自の染織美の追求に努めている。

田辺市においても、昭和 59 年 (1984 年) に紀南文化会館小ホールの綴帳制作を担当し、同年に開催された紀南文化会館開館記念展「四人展」に出品する。また、平成 5 年 (1993 年) から翌 6 年 (1994 年) には、田辺市立美術館設立準備委員会委員を務める。平成 10 年 (1998 年) には、田辺市立美術館において企画展「Tapestry 潮隆雄展」が開催され、平成 22 年 (2010 年) にも、同館において近年 20 年間の制作活動を紹介する企画展「潮隆雄展 タピスリー近作展」が開催されている。

これまで、日展審査員、日本現代工芸美術展審査員や現代工芸美術家協会理事・同近畿会会長等を歴任するとともに、平成 22 年 (2010 年) 現在も広島市立大学名誉教授、日展評議員や現代工芸美術家協会参事等の要職にあって、染織業界の指導や後進の指導にも力を尽くすなど、日本を代表する染織家の一人として幅広く活躍するとともに、文化の発展に大きく寄与している。

## 第 41 回 (平成 22 年)

### (略 歴)

昭和 36 年 (1961 年)	3 月	京都市立美術大学卒業
昭和 38 年 (1963 年)	3 月	京都市立美術大学専攻科修了
昭和 39 年 (1964 年)		現代工芸海外選抜展北米巡回展出品 (以後海外選抜展出品 9 回)
昭和 45 年 (1970 年)	4 月	京都精華短期大学美術科助教授
昭和 49 年 (1974 年)	4 月	東京芸術大学工芸科非常勤講師
昭和 53 年 (1978 年)		日本現代工芸美術展審査員 (以後審査員 8 回)
昭和 54 年 (1979 年)	4 月	京都精華大学美術学部助教授、同教授
昭和 54 年 (1979 年)		個展 (東京・ミキモトホール)
昭和 57 年 (1982 年)		個展 (京都高島屋 以後京都・大阪・岡山・米子で計 9 回)
昭和 58 年 (1983 年)		作品集『タピストリー 潮 隆雄』出版
昭和 61 年 (1986 年)		ハイデルベルク大学開学 600 年記念展及びドイツ巡回展に出品
平成 3 年 (1991 年)		作品集『織の彩』出版 社団法人現代工芸美術家協会理事、同近畿会会長
平成 4 年 (1992 年)		公益法人 財団法人秀明文化財団評議員
平成 7 年 (1995 年)	4 月	広島市立大学芸術学部教授
平成 7 年 (1995 年)		日展審査員 (以後 2 回 H13、H19)
平成 8 年 (1996 年)		日展会員
平成 9 年 (1997 年)		韓日現代工芸地平展 (韓国)
平成 10 年 (1998 年)	4 月	広島市立大学大学院芸術学研究科教授
平成 12 年 (2000 年)		日本現代染織ドイツ展 (メェンヘングラッドバッハ市美術館)
平成 16 年 (2004 年)		「前進する工芸展」(全国芸術系大学工芸教員 55 名による展覧会) 企画立案・実行委員長 (広島市)
平成 17 年 (2005 年)	4 月	成安造形大学非常勤講師
平成 17 年 (2005 年)	4 月	広島市立大学名誉教授
平成 20 年 (2008 年)	5 月	日展評議員
その他		日本現代工芸美術家協会参事 財団法人手織技術振興財団理事

### (受賞歴)

昭和 36 年 (1961 年)		第 4 回日展初入選 (以後入選 24 回)
昭和 37 年 (1962 年)		第 1 回日本現代工芸美術展に初入選 (以後第 10 回を除き毎回入選)
昭和 48 年 (1973 年)		第 12 回日本現代工芸美術展 現代工芸賞・読売新聞社賞
昭和 51 年 (1976 年)		改組第 8 回日展 特選
昭和 52 年 (1977 年)		第 3 回日本の現代工芸展 優秀賞・ニッポン放送賞
昭和 55 年 (1980 年)		第 19 回日本現代工芸美術展 現代工芸会長賞
平成 2 年 (1990 年)		滋賀県文化奨励賞
平成 4 年 (1992 年)		第 24 回日展 特選
平成 5 年 (1993 年)		秀明文化賞 (財団法人 秀明文化財団)
平成 15 年 (2003 年)		第 35 回日展 会員賞
平成 18 年 (2006 年)		滋賀県大津市文化賞
平成 19 年 (2007 年)		和歌山県文化賞
平成 22 年 (2010 年)		第 49 回日本現代工芸美術展 文部科学大臣賞